

支部総会が開催されました

6月1日に民商の定期総会に向けて、各支部が支部総会を開催しています。支部総会では本部総会の方針案の討議を進め、1年間の支部の活動を振り返り、今後1年間の活動方針、支部役員体制、支部会計の決算・予算を採択します。各支部の総会の様子をお伝えします。

北支部

4月26日(木)夜7時から会員のお店「ぶたたまや」さんに会場をお借りして開催した総会には、6名が参加しました。最初に月田さんがあいさつされ、ご来賓の石川府議と塩見市議があいさつをされました。塩見さんのお話で、吹田市議会で「消費税増税中止を求める意見書」が採択されたことが報告されました。

議案の提案は、本部総会の方針案での話し合いを進めました。意見としては、「今国会で共産党がリードする形で野党の共同ができるのがすごい」「少子高齢化になっていくことでもっと景気は悪くなる。国の政策で子供を産み育てられるような社会にしないかん」などの意見が寄せられました。

あい川支部

4月27日(金)民商会館で7名の参加で開催しました。石川府議と塩見市議が駆けつけていただき、府政と市政の中心にあいさつされました。議案の提案は本部総会の方針案を読み合せ、岡崎さんが支部の方針案を提案しました。また、岡崎さんが消費税が導入されてからの30年間を振り返るための資料を作り、その資料に基づいて学習も行いました。会員からは、消費税は「社会保障のためとか社会保障に使うと言ってきたのに、全然そうならないよね」「絶対、増税させたらアカン」と声が上がりました。



片山支部

飲食店で開催した総会には12名が参加しました。本部総会の第一次案の討議が進みました。参加者から吹田市で起きている造園業務のダウンピング問題について質問や、下請で受注をしている大阪府営住宅の仕事が安すぎることに、子どもにも貧困が広がること、子どもにも貧困が始まる国保府内統一化への不安の声が出されました。



吹南支部

9名の会員が集まりました。支部の活動方針が主に話し合われました。吹南支部では昨年12月に役員だけであらためて全会員を訪問するため、記念品の配布を行いました。今年度はその経験を活かして、会員間の親睦を深めたいこと、リクレーション活動を計画することを支部役員会から報告しました。

中央支部

13名の会員が集まりました。新しい会員さんもいたので自己紹介から始まりました。本部総会の方針案や支部の方針案の報告のあとの討議では、安倍政権に対する怒りや営業の近況を交流しました。総会の後に行われた懇親会は、世代や業種が違う中でも、ご近所話などで和気あいあいとしたものになりました。

千里丘支部

5月6日に総会を開催。参加者は工藤会長はじめ5名です。総会案と仲間を増やす拡大活動の重大さを確認しました。総会後、食事しながら民商55周年のことについて自分の民商歴、仕事、暮らしの現状等で話がはずむ楽しい懇親会も行ないました。



山田支部

4月23日に総会を開催しました。参加者は体調すぐれずお休みされた方がおられ8名でした。まさに日々変わる激動の情勢で活動を続ける大切さと健康診断で自分のカラダを知ることの必要性を再度、確認しました。総会後、会員さんの出前のお鮎と会場の味平さんの中華オードブルを囲んで懇親会を行ないました。



会費集金は会員の心をあつめる活動です 毎月10日までには集めましょう
商工新聞は経営のヒント・くらしの知恵がいっぱい 毎週必ず届けましょう